

第56回学校保健セミナー開催

「第56回学校保健セミナー」を開催いたします。ご参加をお待ちしております。

- 1 日 程 令和8年3月6日（金）14時～16時 参加無料
- 2 会 場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ10階1002会議室
〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3-1
※当日は駐車場が混雑する場合がありますので、公共交通機関のご利用をご検討ください。
- 3 講 師 神奈川工科大学 健康医療科学部 教授 鮎澤 衛先生
- 4 演 題 「学校管理下での心停止」

【はじめに】

- ・日本スポーツ振興センター（JSC）の災害共済給付制度に報告される事故・健康障害の中には、以前から「突然死」と分類される事例があり、大きな問題の1つとされてきました。
今回は突然死で最も多い「心臓系突然死」にスポットをあてセミナーを開催します。

【講演内容】

- ・突然死は、推定される発生原因によって「心臓系」「中枢神経系」「大血管系その他（乳幼児突然死症候群、急性呼吸不全等）」に分けられるが、その中で心臓系突然死が最も多く、突然死の中で60～80%前後を占めてきた。学校等の管理下の死亡例は減少傾向にあるが、その主な理由として2004年に解禁された一般人による救命処置に伴うAEDの使用が考えられ、またその蘇生方法の成功例の報告が増えている。
- ・2008年から2016年までの事例発生状況から、心停止後に突然死に至った例数と蘇生救命できた例の数を比較すると、突然死が減少していることと心停止から蘇生された事例が、いまや突然死の数よりも多くなっており、毎年20～40例見られる。
- ・死亡例数と蘇生例を合わせると、毎年50～60例の児童生徒等が心停止で倒れていますことになり、これはBLS/AEDが行われなかった2005年以前の心臓系突然死全体の数とほぼ同数となっている。
- ・子どもたちが、学校生活を健やかに、また安全安心に過ごせるよう、学校管理下での心停止の現状と課題を解説し、今後の対処法を講演していただく。

あゆさわまもる

【講師 鮎澤 衛 先生プロフィール】

| | |
|---------|---|
| ○現 職 | 神奈川工科大学 健康医療科学部 特任教授 兼 日本大学医学部客員教授 |
| ○研究分野 | 小児科学、循環器内科学、学校保健 |
| ○主要な委員歴 | 日本小児循環器学会評議員、日本川崎病学会副会長兼運営委員、 日本小児科学会代議員、日本小児保健協会代議員、など |
| ○メッセージ | 学校心臓検診と突然死予防に関する研究は、子どもたちが学校生活を健やかに、そして安全に送れるようにすることを目指しています。特に心臓の研究は、子どもの運動や活動に直結するため、学校での健康管理において非常に重要なテーマです。 (ホームページより引用) |



5 共催・後援

- (1) 共催 静岡県学校保健会
- (2) 後援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会、静岡県私学協会

6 受講定員

先着50名様に限らせていただきます。

7 申込み等

- ・別紙「参加申込書」により、令和8年2月27日（金）までにFAXにてお申し込み下さい。
- ・申し込み状況は、当協会ホームページ「新着情報」に適宜掲載します。
- ・今回のセミナーはオンデマンド配信を実施しない予定です。

8 主催・問合せ先

公益財団法人静岡県予防医学協会 藤枝健診センター健康増進課 滝浪

〒426-0053 静岡県藤枝市善左衛門2-11-5 電話:054-636-6461 FAX:054-636-6462

Eメール:syobo-kouhou@shsa.net